

消防研職員

廃止後、消防庁復帰へ

「行革に逆行」の声も

06年4月に廃止される
独立行政法人(独法)「消
防研究所」の職員が廃止
後、総務省消防庁に編入
されることになった。国
の仕事をスリム化するた
め省庁から切り離された
独法が、省庁に再び統合
・吸収されるのは初めて。
消防庁は「災害現場で特
殊な任務に就くため公務
員の身分が必要」と説明

するが、政府・与党内か
らは「行革の流れに逆行
するのでは」といった疑
問の声が上がっている。
消防研は1948年に
発足し、60年に自治省消
防庁(当時)の付属機関
になった。01年4月に独
法化され、現在の職員数

は48人。大規模火災の際
に消火活動の助言をした
り、火災原因や防災につ
いて調査・研究したりし
ている。
政府の「独立行政法人
に関する有識者会議」は
10月、消防研について、
職員を非公務員とした上

で防災科学技術研究所と
統合するよう提案した。
しかし、消防庁は「当初
は職員の身分が公務員で
も構わない」ということだ
ったので独法化を受け入
れた。災害現場に行く身
で非公務員化するのは適
当でない(幹部)と反

論。結局、職員を半數程
度に減らしたうえで、06
年4月に組織を廃止し、
消防庁に吸収することに
なった。
総務省は「消防研を独
法化したのがそもそも問
違だった」(幹部)と
説明している。